

2021年4月23日(金)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

SDGs 対応素材で大注目の紫茶！

『アーバンライフメトロ』で紹介&特集記事として

東京メトロ全線で中吊り掲載がスタート！



オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)がSDGs 対応素材として力を入れて販売強化をしている紫茶が、東京で「つながる」を見つけるメディア『アーバンライフメトロ』で取り上げられましたのでお知らせいたします。同媒体が配信した紫茶の記事は、ヤフーニュースやラインニュース、スマートニュースなどでも取り上げられ多くの反響が出ています。また、4月19日から東京メトロ全線で中吊り掲載も始まりました！(期間は約3週間の予定。)

◆アーバンライフメトロ:<https://urbanlife.tokyo/>

◆紫茶の紹介記事:<https://urbanlife.tokyo/post/54707/>



日本から1万km超 広大無辺のケニア山麓で育った「天空のお茶」紫茶って何？

お出かけ

2021年4月13日

4月14日(水)でオリンピックまでちょうど100日を迎え、『アーバンライフメトロ』では多くの大使館が立地している東京の地の利を活かし、世界に触れる機会としてケニア大使館を訪問。そこで、注目の農作物として紫茶が紹介されました。

紅茶の世界的な生産地であるケニアでは、ウェルカムドリンクや歓談、会議の際には必ず「紅茶」を飲むほどケニアで親しまれているお茶です。しかしながら、一般的な紅茶は流通量が多いため、価格が下がることもしばしばあるとのこと、その点を改善していくためにケニア茶葉研究財団(TRFK)が25年の歳月をかけ開発したお茶が紫茶です。その独自性と希少性から価格を高く維持することができており、それはつまり、ケニアの生産者たちにとっても大きなメリットをもたらすということで、ケニア大使館もPRに力を入れています。

早くから紫茶の希少性と高いポリフェノール量に注目していたオリザ油化も、今回の特集にあたり『アーバンライフメトロ』から取材をうけ、当社がこれまで研究してきた紫茶の働きや期待される効果について紹介しました。

『アーバンライフメトロ』では、4月19日から東京メトロ全線にて中吊り掲載を開始。約3週間にわたり、「中吊り掲載特集」として記事を拡散してくれています。(全車両、1編成おきに掲載されています。)

オリザ油化では、この機会をきっかけに、広く紫茶が認知され、SDGsの観点からもますます注目が集まることを期待しています。



※19日から掲載されている中吊り広告のイメージ

オリザ油化株式会社 本社 〒493-8001 愛知県一宮市北方町沼田1 TEL:0586-86-5141

東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 デイアモンドビル5階 TEL:03-5209-9150

HP:<https://www.oryza.co.jp/>